

大阪電気通信大学
情報処理教育センター年報

2003年度

Education Center for Information Processing

Osaka Electro-Communication University

情報処理教育センター

目 次

巻頭言	1
寄稿	3
組み込みシステム試作実習授業における演習室の利用 高見 友幸	
特集 第1 演習室の更新について	5
施設と設備	13
第1 演習室システム構成	
第2 演習室システム構成	
第3 演習室システム構成	
第4 演習室システム構成	
第5 演習室システム構成	
購入出版物	33
演習室利用状況	34
自由開放実施報告	40
活動報告・施設見学等	47
オープンキャンパス報告	48
「CG体験」報告	
運営組織	50
構成	
情報処理教育センター規則	
情報処理教育センター運営委員会規則	

巻頭言

情報処理教育センター長 松村 雅史

状況把握の1年

2003年4月より2代目情報処理教育センター長となり、4月以降の各種委員会、第1演習室の機種更新など、あっという間に1年が経過したことから、この1年は「状況把握の1年」となりました。本センターは1978年という情報社会創世時代に我が国で最初にパソコンを用いた対話型情報処理教育施設として設置されました。以後、常に最新の情報技術を積極的に取り入れた教育を実践し、「電通大方式」として知られる学生の状況をスキャンして教場のモニタリングを行うハードウェアと情報ネットワーク、それらを支援するソフトウェアを用いた教育方式の理念(初代センター長デジタルゲーム学科対馬勝英教授が提案)は継承されています。

現在、工学部、医療福祉工学部、総合情報学部の3学部の学生が本センターを利用しています。本センターは、UNIX、マルチメディア、インターネット等の新しい情報環境にいち早く対応し、先進的な情報教育を実現しています。具体的には、プログラミング教育(C++, VC, VB, Java)、カラー画像処理、VHDLによるLSI回路設計、3D-LOGOを用いた関数型プログラミング教育、知的CAIを用いた教育支援、3ds maxによる実践的アニメーション制作、LabVIEWによる生体計測・医療情報処理などのユニークな教育が実現されています。内容も、情報技術・メディアアート・デジタルコンテンツ・アニメーション・医療情報・福祉情報とこれからの時代をリードする先駆的な教育内容です。特に、LabVIEWの本格的導入による演習実施は、米国では盛んに行われていますが、日本では慶応大学、明星大学と本学の3大学のみであり、その教育的成果が期待されています。このように、本学の研究教育の先進性を活かしたセンターの活動は、産業界より注目されています。

この1年で最も感じたことは、本センターの見学が多いことです。近隣の小中学生から大学関係者、地方自治体の方々など、多くの方々に本学の情報教育に関する長い歴史と実績(対馬前センター長の功績)をアピールさせていただきました。また、私立大学情報教育協会の会合に出席して各大学の取り組みも勉強させていただきました。平成14年より、300校以上の私立大学間が参加してカリキュラムなどを交流するサイバーキャンパスコンソーシアム(私立大学情報教育協会)に参加することが決定し、この事業の拠点校としてeラーニングの設備の強化も進めています。この事業につきましては、他大学との遠隔授業が計画され、その教育的効果を確認しながら、少しずつですが前進させていきたいと考えています。

さて、最近の入学生をみると、かなりのコンピュータ操作の経験を積んだ学生が多くなってきました。一方、初心者である学生もいて、そのレベルに合わせた習熟度別の演習、コンピュータリテラシーに関しては専門教員の配置の必要性を感じております。コンピュータの高性能化と利用形態の多様化により、コンピュータはかつてのビジネスや研究開発のツールから、日常生活の情報コミュニケーションツールとして浸透しています。小学生がコンピュータ(PowerPoint)を利用して理科研究のプレゼンテーションを行う時代において、本センターでは情報およびコンピュータに関して多様な能力を有する学生に対して適切な教育が行えるように情報ネットワーク環境の構築を進めていきます。特に、eラーニングの環境整備は重要課題であり、TOEICなどの資格試験で成果が得られるようにシステムを構築するように努力致します。これからは情報発信しない(できない)大学は生き延びていけない時代になっています。積極的に情報発信を行いながら本学の独自性を出ていきます。特に、eラーニングの環境整備は重要課題であり、TOIECなどの資格試験で成果が得られるようにシステムを構築するように努力致します。これからは情報発信しない(できない)大学は生き延びていけない時代になっています。積極的に情報発信を行いながら本学の独自性を出せるように関係の方々のご支援を頂きながら新機軸を出せるように努力しますので、ご協力願います。

寄稿

組み込みシステム試作実習授業における演習室の利用

総合情報学部デジタルゲーム学科 高見友幸

EDAツール（電子回路CADとPCB配線CADの統合環境）による回路設計、組み込みシステムプログラミング、HDL（ハードウェア記述言語）によるFPGA/CPLDの設計といったような、ハードウェアとソフトウェアの密接に連携した技術分野が発展を見せている。それに伴って関連する開発ツールも普及し、これらの技術分野を総合的に学びつつハードウェアの試作も行うという授業形態が可能となってきた。その試みのひとつとして、組み込みシステムの試作を題材としたモデル授業を試験実施したので報告する。

実習は、夏期／春期休業期間中の集中ゼミとして10人程度の小グループで数回にわたり実施された後、本学短期大学部2年次の授業（情報工学実験・ソフトウェアⅣ）で試験実施された。実習の内容と進行手順を次ページの図に示す。ハードウェア設計の作業（H1～H7）とソフトウェア設計の作業（S1～S5）が並行して進むことになる。特徴は、受講生各自が回路設計／基板配線設計から、基板加工、電子部品／ソフトウェア実装、デバッグまでの試作全過程を実習するという点である。最終的に組み込みシステムの試作回路を仕上げるという意味ではハードウェアの技術実習であるが、実習の過程ではCADやプログラミング等でソフトウェアに関わる時間の方が圧倒的に長く、ハードウェア実習に対する学生の拒否感も少ない。

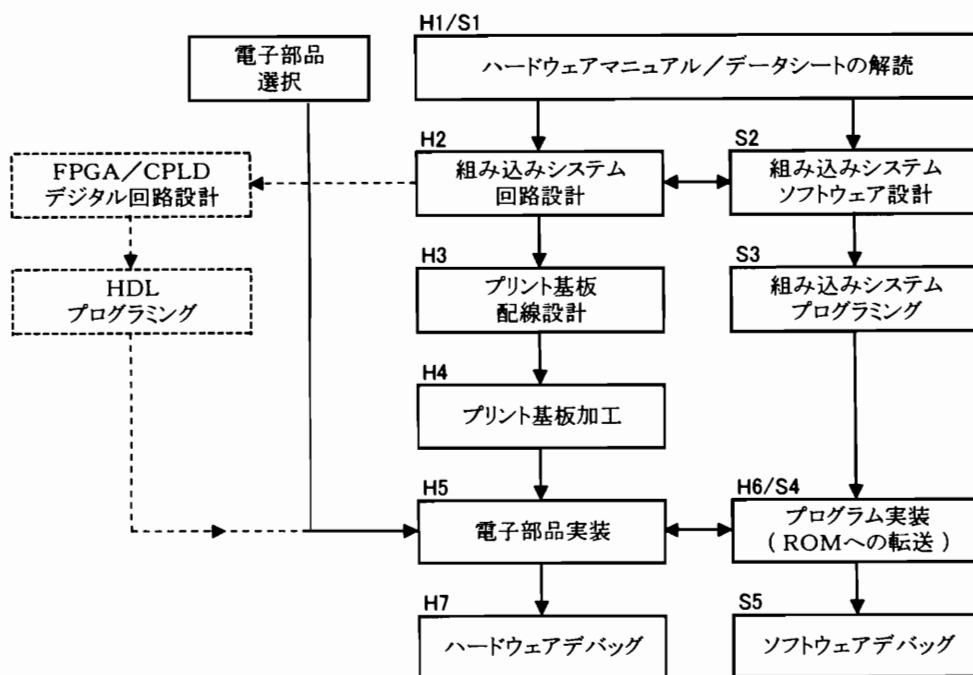
実習の初期段階では、まず、ハードウェア関連部分のH1～H7の習得を目指す。受講生には、完成した回路図（H2）と組み込みプログラム（S2,S3）の参考例をあらかじめ配布するので、作業の中心は基板配線設計、電子部品実装、ハードウェアデバッグとなる。回路設計からではなく、グラフィックアートの要素が強い基板配線設計から開始することで実習がスムーズに進行するようである。実装に使用する部品については、各自が選択し（初期段階では、主としてスイッチ類とコネクタ類）、それに応じて個別にフットプリント（部品の足配置図）を作成することとし、各自の設計にオリジナリティを持たせた。

実習の最終段階では、コンパクトフラッシュ型PHSカード、CMOSイメージセンサ、TCP/IPプロトコルスタックLSI等、身近にある高機能な組み込みモジュール／ICを使用した。これらの部品を含む回路例を、実習の開始時に提示し最終目標をはっきりさせた。これまでの授業では行われていないが、FPGAまたはCPLDを回路にひとつ含ませて試作するのが面白いと思っている（この場合、図の破線部の工程が追加される）。HDLプログラミングにより設計したICを自作回路中に実装して用いることが重要であると考えている。

E D A ツールとプリント基板加工システムを連携して用いることにより試作が短期間で実現するため、1 セメスタの実習科目あるいは1 週間の集中実習として試作実習授業の実施が可能となる。E D A ツールには Protel99SE 体験版、プリント基板加工システムにはミッツ製 FP-21A を用いた。Protel で作成した P C B 配線設計図はガーバーファイルに変換された後、FP-21A への入力となる。基板加工 (H4) の工程については、現在のところ、受講生が直接に操作できる態勢にはなっておらず、加工中のようすを見学するだけである (今後、操作ができるようにする予定)。マイクロコンピュータにはルネサス製 H 8 / 3 0 4 8 F、H 8 / 3 6 6 4 F を用いた。W e b サーバー上に I C のデータシート、マイクロコンピュータのハードウェアマニュアル、電子部品のフットプリント (Protel 用)、制御プログラム例といった作業に不可欠な情報を集め、積極的な W e b アクセスを促すことで W e b を介した授業外支援の方法も模索した。

以上のような実習内容は、従来、企業内の教育で対処がなされてきた実践的分野であるが、高性能で安価な設計・開発ツールが普及しつつあることで、時間的・経済的な制約を受ける大学の授業内においても十分に扱うことが可能となった。試作工程に凝縮されたいくつもの I T 技術を一気に学ぶという爽快感を目指した。設計手法やアルゴリズムを一から順に解説することを避け、次々と進んで見本を提示するようにした。受講生は忙しくハードとソフトの手作業を重ねることで、専門家意識に浸ることができているように思う。

短期間で組み込みシステムの開発ができ、出来上がった試作システムの応用範囲も広いことから (計測、通信、制御関連等)、「産学連携」や「大学発ベンチャ育成」とも関連し、実習の成果が有効に機能することが期待できる。



組み込みシステム試作実習授業の内容と進行手順。ハードウェアの作業(H1~H7)とソフトウェアの作業(S1~S5)が並行して進むことになる。破線部の内容については今後の予定である。H1~H3とS1~S4の作業を第2演習室/第4演習室にて実施した。

【特集】 第1 演習室の更新について

2004年度には本学四條畷学舎にある第1 演習室の機器更新を予定している。今回の機器更新において、コンピュータ関係の機器更新と映像関係の機器更新と2つの分野に分割して考え、本資料はコンピュータ関係の機器更新について述べる。

演習用機器

演習用コンピュータ 87台

(=学生用 80台+教員用 2台+教材配布用 2台+予備用 3台)

学生用、教員用、教材配布用、予備用の本体は同一メーカーであること。また、学生用、教員用コンピュータにおいて、盗難対策を施す必要がある。

学生用コンピュータ：80台

- ・ OS WindowsXP Professional
- ・ CPU Pentium4 2GHz 以上
- ・ メモリ 1GB 以上
- ・ HDD 容量 80GB 以上 回転数 7200rpm 以上
- ・ CD-ROM CD-R/RW/DVD-ROM
- ・ Audio AC'97 同等以上
- ・ NIC 1000Base-T
- ・ Graphic 1024 x 768 True Color 以上
- ・ FDD 3.5 inch FDD
- ・ 拡張スロット (空) PCI * 3 以上
- ・ ドライブベイ (空) 外部 / 5inch * 2 以上 , 内部 / 3.5inch * 2 以上
- ・ 外部インターフェイス シリアル * 1 以上
パラレル * 1 以上
USB2.0 * 6(筐体の前後共にコネクタがあり、学生が容易に
USBメモリ等を利用できること)

モニタ： EIZO L365(15 inch) 以上

その他： USBカメラ (Creative社 Webcam)
マイク、延長USBケーブル、延長シリアルケーブル
Microsoft SideWinder JoyStick

教員用コンピュータ：2台

学生用のコンピュータと同等。また、本体フロント部にMOドライブを装着する(MOドライブ、SCSIカードは既存のものを流用する)。

教材配布用コンピュータ：2台

教員用コンピュータと同等の構成とする。

予備用コンピュータ：3台

学生用コンピュータと同等の構成とする。

準備室用コンピュータ：3 台

演習用コンピュータと必ずしも同一メーカーである必要はない。主に動画等のマルチメディア系の処理を行わせる予定である。

- ・ CPU Pentium4 2GHz 以上
- ・ メモリ 1.5GB 以上
- ・ HDD 容量 80GB 以上の 2 ドライブ
- ・ CD-ROM マルチドライブ (DVD ± R/ ± RW/RAM)
- ・ Audio AC'97 同等以上
- ・ NIC 1000Base-T
- ・ Graphic 1024 x 768 True Color 以上
- ・ FDD 3.5 inch FDD
- ・ 拡張スロット (空) PCI * 3 以上
- ・ ドライブベイ (空) 外部 / 5inch * 2 以上
内部 / 3.5inch * 2 以上
- ・ 外部インターフェイス シリアル * 1
パラレル * 1
USB2.0 * 6(筐体の前後共にあること)

モニタ： EIZO L365(15 inch) 以上

その他： メモリカードリーダー

(CompactFlash/SmartMedia/SD カード/MemoryStick)

教卓用 Macintosh (1 台)

Apple iMac 15inch フラットパネル仕様、iSight 付属
(Microsoft Office:mac を必要とする)

準備室用 Macintosh (各 1 台、計 2 台)

Apple iMac 17inch フラットパネル仕様、iSight 付属
Apple PowerMac G5、iSight 付属

プリンタ等：

演習室・準備室内には、下記に挙げる EPSON 製プリンタを設置する。演習室内に設置するプリンタについては誰が印刷したか判別できるように、ヘッダ部分に「学生番号」「氏名」が同時に印刷できる仕組みを必要とする。

- 演習室内：EPSON 製モノクロレーザープリンタ 2 台 (学生側 1 台、教卓 1 台)
- EPSON 製カラーレーザープリンタ 1 台
- EPSON 製ネットワークスキャナ 1 台
- 準備室内：EPSON 製モノクロレーザープリンタ 1 台

サーバー用機器

スペースの都合上、全てラックマウント式サーバーとし、ネットワークデバイスは最低1000BaseT以上とする。サーバー類を収納する上でのラックの本数は問わないが、演習準備室内に設置できることを必須とする。また、今後の拡張を考慮して、ラックにはいくらかの空きを設けておく必要がある。

・ Internet 通信用 Proxy サーバー及び DHCP サーバー

1. Proxy サーバーとして、演習室内からのインターネットアクセスを支障なく行えるもの
2. DHCP サーバーとして、演習室内からの DHCP サービスを安定して行えるもの
3. サーバーに障害が発生しても、出来るだけサービスを提供し続けられるもの
4. 1つの筐体で2つのサービスを提供すること
5. 利用OSは問わない

・ プリントスプール用サーバー

1. 演習室内からのプリントスプールを受け付け、支障なくプリンタへ印刷できるもの
2. サーバーに障害が発生しても、出来るだけサービスを提供し続けられるもの
3. 利用OSは問わない

・ ネットワーク機器管理用サーバー

1. サーバー機器を含む演習室内のマシン・デバイスの状態を管理・監視できるもの
2. 利用OSは問わない

・ Symantec Ghost 及び CampusESper サーバー

1. 演習室における演習機はSymantec社のGhostで管理する予定であり、その際のHDDイメージ等のデータを配信・格納できるもの
2. HDDのイメージデータの保存目的として外部記憶装置のDVD-R/RAMが扱えるデバイスを接続していること
3. 演習室における演習機はhp社のCampus ESPerで管理する予定であり、そのサーバー機能を有する性能を持っていること
4. 利用OSはWindows系とする

・ 多目的サーバー * 4台

1. HelixServer、apache等が稼働できるもの
2. 特に過剰なスペックは要求しないが、安定した運用が出来ることを必須とする
3. 利用OSは問わない(必ずしも全てが同じOSである必要はない)

・ e-Learning 用サーバー (ALC NetAcademy)

ALC社のNetAcademyが稼働するものとする。このサーバーには、NetAcademyに関する全学生のデータとe-Learningのコンテンツが含まれる予定である。このサーバーはWindows2000Server + Microsoft SQLServerで稼働する予定である。

なお、これらの構成にコンソール切り替え機が必要となる。モニタ、キーボード、マウスは、必ずしも1Uの大きさで収納できるものである必要はないが、キーボード及びマウス操作が容易である物を求める。また、これらのサーバー類に対して無停電電源装置を接続させることを必須とする。サーバーのメーカーは全て同一である必要はないが、トラブルが生じた際はメーカー等と密接な連絡を行い、迅速な対応が出来る必要がある。

ネットワークスイッチ機器等

既存のCISCO Catalyst5000と入れ替え、現在稼働している第5演習室経由で学内ネットワークに接続する。第5演習室側のスイッチはExtreme社のSummit 7iであり、このスイッチとは1000BaseSX * 2接続とし、冗長性を持たせる予定である。

演習室内の演習機器及び、準備室内のコンピュータ及びネットワーク機器とは1000BaseT以上で接続するものとする。これらのネットワークスイッチ機器に対して無停電電源装置を接続させることを必須とする。

既に演習準備室内にある光ケーブルを、多目的サーバーと外部へ100BaseSX または1000BaseSXで接続する可能性もある。

現在演習室内と準備室内に敷設しているUTPケーブルをCat5eまたはCat6ケーブルに敷設しなおす。

演習室内に無線LANアクセスポイントを1つ設置する。アクセスポイントのメーカーは問わないが802.11bの規格を含み、安定して稼働するものであり、かつ、セキュリティーを考慮した製品を必要とする。

学生用データ保存サーバー

学生の個人データおよび各個人が作成したファイル等は、第5演習室に既に稼働しているファイルサーバーを利用することとする。

貸出用等ノートパソコン

1) ノートパソコン (12台)

演習室内におけるソフトウェア環境をノートパソコン上でも実現するもの。また、無線 LAN 用アダプターを準備するが、可能であるならば本体に内蔵されているものの方が好ましい。メーカーは問わないが、下記のスペックを必要とする。

OS	Microsoft Windows XP
CPU	Pentium 1.4GHz 以上
メモリ	1GB 前後
HDD	20GB 以上
CD-ROM	DVD-ROM 読み込み以上
解像度	1024 × 768 以上

2) タブレット PC (3台)

演習室内に準備する無線 LAN アクセスポイントと接続する予定である。メーカーは問わない。

3) CCC 用ノートパソコン (5台)

CCC で開発用として使用する予定である Apple 製ノート PowerBook G4。このノートパソコンには SuperCard をインストールする。

その他

学生用本体の環境において、ソフトウェアバージョンアップ等のテストを行うことが多々ある。そこで、試験用とする HDD を別途 10 個準備する。HDD は学生用、教員用、教材配布用、予備用本体で使用している同メーカー・同型番が望ましい。

学生用のコンピュータに VirtualPC に代表されるコンピュータ環境をエミュレートする仮想 PC ソフトウェアを導入する。講習会等のセミナーで利用することが主に考えられるが、3D-LOGO のソフトが Windows XP に対応していないために導入を決めたものである。現時点でゲスト OS は Windows NT4.0 (ライセンスは既存のものを利用) を予定している

ソフトウェア一覧

演習用マシン：

(現ライセンスを継承)

- ・ BASIC/98 for Windows
- ・ Study C
- ・ 3DLOGO
- ・ MCAFEE VirusScan

(新規にライセンスを購入)

- ・ Office 2003 Professional
- ・ LabView (キャンパスライセンス 教育用)
- ・ Moho Version 4.6 (動画オーサリングソフト)
- ・ 仮想PC ソフト

(VB.NET Pro のライセンスを購入し、ダウングレードして利用)

- ・ Microsoft Visual Basic 6.0 Professional

(既存のネットワークライセンスを利用)

- ・ MATLAB

(既存のキャンパスライセンスを利用)

- ・ Mathematica

(無償ソフトウェア等)

- ・ ISE WebPack (Xylinx 社)
- ・ DogaL、DogaE
- ・ tinyNeGAS
- ・ コンテンツエバリエーター

サーバーマシン：

- ・ ネットワーク管理ソフト
- ・ HelixServer

その他：

- ・ Symantec Ghost Client Server 一式
- ・ Campus ESPer Pro Client Server 一式

CCC用ノートパソコン

- ・ Super Card

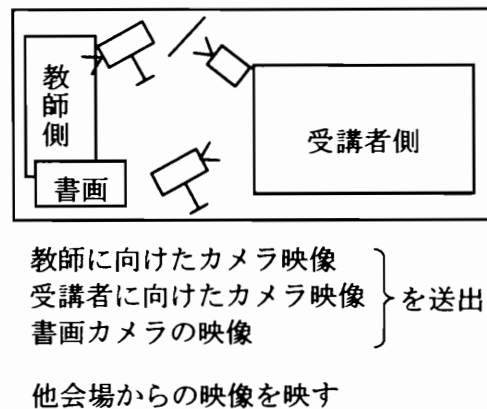
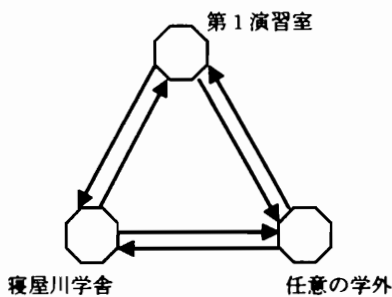
提案事項

1) 遠隔教育システム

第1演習室と本学寢屋川学舎の演習室と学外の拠点とする遠隔教育システムを提案していただく(下図参照)。遠隔教育システムの条件として、

- ・ 各拠点において双方向な通信が同時に可能
- ・ なるべく情報量の多い通信が可能 (ISDN回線は不可)
- ・ 遠隔教育の内容が記録できる (音声・映像等)
- ・ 各拠点において、教壇上 (+ 書画)・受講者の状況が他拠点で見ることが出来る
- ・ 本学、学外に設置しようとするシステムがなるべくコンパクトな大きさと実現
- ・ 他拠点からの映像は1つの映像出力装置で映し出す事が出来る

の各項目を出来るだけ満たすものとする。



2) ネットワーク管理・監視システム

年々、ネットワーク機器が増加し、目視を主とする管理・監視体制が破綻している。そこで、演習室内ネットワーク機器及びUPS等の付属機器の状態をグラフィカルに管理・監視できる仕組みが必要。

3) 遠隔電源管理システム

2) のネットワーク管理・監視システムと重複するものがあるが、サーバー機器及びネットワーク機器の電源を遠隔で操作できる仕組みが必要。

更新後の第1演習室詳細スペック(2004年度導入予定)

実際に導入予定のシステム構成を以下に示す。

演習用コンピュータ	型番	hp d530 MT/CT
	CPU	Pentium4 2.66GHz
	メモリ	1GB
	HDD	80GB/7200rpm
	グラフィック	オンチップ
	モニタ	EIZO L367
	WebCAM	Webcam NX
	マイク	(ヘッドセット付き)
プリンタ	モノクロ/学生	LP-9600SPD
	モノクロ/教員	LP-9600SPD
	カラー/学生	LP-8800CPS
	スキャナ	ES-7000H
無線LAN	アクセスポイント	Aironet1200
ノートパソコン	貸し出し用ノート	hp nx9010
	サイズ	A4
	CPU	Mobile2.3GHz
	メモリ	512MB
	HDD	30GB
	タブレットPC	HP TC1000
	サイズ	A4
	CPU	Crusoe 1GHz
	メモリ	256MB
	HDD	30GB
	CCC用PowerBook	
	CPU	1GHz
	メモリ	256MB
	HDD	60GB
	15inch	
各種演習サーバー e-Learning(TOEIC)	品番	DL380
	CPU	Xeon 2.4GHz*2(Dual)
	メモリ	2GB
	HDD	36.4GB*3
各種演習サーバー Ghost CampusEsper	品番	DL380
	CPU	Xeon 2.4GHz
	メモリ	1GB
	HDD	36.4GB*5
各種演習サーバー Proxy DHCP	品番	DL360
	CPU	Xeon 2.4GHz
	メモリ	1.5GB
	HDD	36.4GB*2
多目的サーバー	品番	DL360
	CPU	Xeon 2.4GHz
	メモリ	1GB
	HDD	36.4GB
ネットワーク	スイッチ	Catalyst 4507
遠隔教育システム		
	システム	WonderStream

施設と設備

本センターの施設は、四條畷学舎と寝屋川学舎にわかれており、合わせて5つの演習室がある。四條畷学舎には第1演習室、第5演習室、寝屋川学舎には第2演習室、第3演習室、第4演習室があり、それぞれの特徴を活かした演習を行っている。



第1演習室（四條畷学舎 1-216）

第1演習室では、Windows NTマシン80台を導入し、主に工学部1年次生に対する情報基礎教育を実施している。（2004年度に更新予定）



第2演習室（寝屋川学舎 C-402）

第2演習室では、Windows NT, Turbo Linux, BeOSといった3つのOSを搭載したマシンを76台導入し、利用用途に合わせてOSを選択できる。



第3演習室（寝屋川学舎 C-403）

第3演習室は小教室であるが、第4演習室と同様のマシン20台に加え、iMac, VAIOなど授業以外のコンピュータも利用できる多目的性格を持たせている。主に自由開放として利用し、学習用ビデオ・CD-ROMの視聴も可能である。



第4演習室（寝屋川学舎 D-356）

第4演習室のコンピュータはWindows NT/Turbo Linuxのデュアルブート環境を構築している。

座席数は136であるが、パーティションにより、80席と56席の教室に分割することができる。



第5演習室（四條畷学舎 2-207）

第5演習室のコンピュータはWindows XPを導入しており、72台のコンピュータを利用することができる。また、巨大スクリーンを導入し、遠隔授業にも対応している。

第1 演習室システム構成

【教員用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-350 CPU:MMX Pentium233MHz メモリ:96MB HDD:4.3GB (内蔵) FDD:3.5inch×1 3モード(720KB/1.2MB 1.44MB) (内蔵) MOD:3.5inch640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ (外付) 17inchモニタ	2
	Apple Power Macintosh G3/233DT メモリ:96MB HDD:4GB FDD:3.5inch×1 (内蔵) CD-ROM (内蔵) 17inchモニタ	1
プリンタ	EPSON MJ-930C	1
提示装置	書画カメラ	1
	電子式ホワイトボード	1
	8mm/S-VHSビデオデッキ	1
	DVプレイヤー	1
	DVD/LDプレイヤー	1
	CCDカメラ	1
	カセットデッキ	2
	ノートパソコン接続用ケーブル	1
モニタリングシステム	OHP	1
	制御用タッチパネル(送出切替, 画面取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	送出確認モニタ	1
	モニタマトリクス	1

【学生用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-350 CPU:MMX Pentium 233MHz メモリ:64MB HDD:4.3GB (内蔵) FDD:3.5inch×1 3モード(720KB/1.2MB 1.44MB) (内蔵) MOD:3.5inch640MB (内蔵) CD-ROM:最大24倍速 (内蔵) スピーカ (外付)	80
プリンタ	EPSON MJ-930C (各列に1台)	10
提示用モニタ	飯山電機 MF-8617E (2席に1台)	40

【サーバ】

サーバ	機種
メールサーバ WWWサーバ	SUN Ultra30 Model 1300
RASサーバ	DELL Optiplex Gxa 6233M
DNSサーバ	SONY NEWS-5000UF
プライマリメインコントローラ ファイルサーバ	DEC AlphaServer800 5/500
DHCPサーバ	ALR Revolution 2X 300/512 Model 1200SR
バックアップメインコントローラ バックアップファイルサーバ	DEC AlphaServer800 5/500
データベースサーバ	ALR Revolution 2XL 300/512 Model 2700SR
バックアップ データベースサーバ	ALR Revolution 2XL 300/512 Model 2700SR

【ソフトウェア】

種 別	ソフトウェア名
O S	Microsoft Windows NT4.0 Workstation
	IBM PC-DOS J7.0/V
言 語	電脳組 BASIC98 for Windows
	Microsoft Visual BASIC
	Orchid Study C
	ユニー 3D-LOGO
統合ソフト	Microsoft Office97 Standard ・Word 98 ・Excel 97 ・Power Point 97
	Claris クラリスワークス4.0JインターネットEdition
エディタ	MEGASOFT MIFES Ver5.5DOS/V版
数式処理システム	Wolfram Research Mathematica
インターネット	Netscape Communicator
電子辞書	オムロンソフト ネットワークこととい
	オムロンソフト 広辞苑 電子図書館
	オムロンソフト 新英和・和英中辞典
	オムロンソフト コンピュータ用語辞典

第2 演習室システム構成

【教員用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:PentiumIII 866MHz メモリ:256MB HDD:40GB (Windows NT:16GB Turbo Linux:10GB BeOS:13GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/1.44MB) CD-ROM:最大40倍速 (内蔵) MOD:3.5inch× 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ:IOデータ CCD-CAM マイク:日立 PC-AM3070 スピーカ:日立PC-AM2100 モニタ:日立15inch液晶モニタ	2
	Motorola Starmax 3000/200 メモリ:64MB HDD:2.3GB (内蔵) FDD:3.5inch×1 (内蔵) CD-ROM (内蔵) 17inch モニタ	1
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
提示装置	書画カメラ(Nikon HI-500E)	1
	電子式ホワイトボード(KOKUYO mimio)	2
	フリーハンド描画装置(Boeckeler Pointmaker)	1
	DV/S-VHSプレイヤー (SONY WV-DR7)	1
	CD/CDV/LDプレイヤー (SONY MDP-455)	1
	CCDカメラ (SONY CCD-PC1)	1
	カセットデッキ (SONY TC-WR790)	1
ノートパソコン用接続ケーブル	1	
モニタリングシステム	制御用タッチパネル(送出切替, 画面取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	送出確認モニタ	1

【学生用システム】

	製 品 名	数 量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:PentiumIII 866MHz メモリ:256MB HDD:40GB (Windows NT:16GB Turbo Linux:10GB BeOS:13GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/1.44MB) CD-ROM:最大40倍速 (内蔵) MOD:3.5inch× 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ:IOデータ CCD-CAM マイク:日立 PC-AM3070 スピーカ:日立PC-AM2100 モニタ:日立15inch液晶モニタ	76
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	5
	EPSON LP-8300CPD(スキャナ付)	1
提示用モニタ	SONY CPD-G200J	38

【サーバ】

サ ー バ	機 種
Campus ESPer ルームサーバ プロファイルサーバ	GATEWAY ALR7400/933
e-learning サーバ	GATEWAY ALR7400/933
e-learning サーバ	富士通 GP400S
デジタルビデオ編集システム	NANAO MediaDirector GP4000
MPEGエンコーダ	IBM Intellistation
VOD	SGI Origin 200

【ソフトウェア】

Windows NT

種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows NT
ビジネス関連	Microsoft Office2000 Pro <ul style="list-style-type: none"> •Word 2000 •Excel 2000 •Power Point 2000 •Access 2000 •Front Page 2000 •Photo Draw 2000 •Publisher 2000
言語	Orchid Study C Borland Borland C++ Suite Compaq Visual Fortran Microsoft Visual BASIC 電脳組 BASIC/98 Metroworks Codewarrior ユニー 3D-LOGO
CG	Adobe Illustrator
エディタ	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT 2000i
シュミレータ	MicroSim Pspice The Mathworks Matlab
ネットワーク	Netscape Netscape Communicator カテナ Logo Vista E to J Internet Plus
電子辞書	ネットワークこととい for Internet 岩波書店 広辞苑 研究者 新英和/英和中辞典 日外アソシエツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux

種別	ソフトウェア名
OS	Turbo Linux Turbo Linux
ビジネス関連	Applixware

BeOS

種 別	ソフトウェア名
OS	Be BeOS
ビジネス関連	BeOSアプリケーションパック

第3 演習室システム構成

【教員用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:Pentium II 350MHz メモリ:96MB HDD:6.4GB(Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 3モード(720KB/1.2MB 1.44MB) (内蔵) MOD:3.5inch 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ (外付) 14.1" S-TFT液晶ディスプレイ	1
	Apple Power Macintosh G3 CPU:300MHz PowerPC G3マイクロプロセッサ メモリ:96MB HDD:6GB FDD:3.5inch×1 (外付) CD-ROM (内蔵) 15" TFT液晶ディスプレイ	1
提示装置	書画カメラ	1
	S-VHSビデオデッキ	1
	CD/CDV/LDプレイヤー	1
	カセットデッキ	1
	CCDカメラ	1
	ノートパソコン用接続ケーブル	1
	液晶プロジェクタ	1

【学生用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:Pentium II 350MHz メモリ:96MB HDD:6.4GB(Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 3モード(720KB/1.2MB 1.44MB) (内蔵) MOD:3.5inch 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ (外付) 14.1" S-TFT液晶ディスプレイ	20
	Apple iMac CPU:266MHz PowerPC G3マイクロプロセッサ メモリ:96MB HDD:6GB FDD:3.5inch×1 (外付)	8
	SONY VAIO CPU:Pentium II 333MHz メモリ:128MB HDD:8.4GB FDD:3.5inch×1 (内蔵) スピーカ (外付)	2
	NEC PC-9801 BX2 CPU:i486 SX 25MHz メモリ:8MB HDD:256MB FDD:3.5inch×2 (内蔵)	2
	SONY NWS-5000SB メモリ:32MB HDD:524MB(内蔵) FDD:3.5inch×1 (内蔵) スピーカ/マイク (外付) 17inch モニタ	2
プリンタ	EPSON LP-9600	1
	EPSON LP-8000C(スキャナ付)	1
	NEC PC-PR101E (PC-9801 BX2専用)	2

【サーバ】

第4 演習室と共用 (第4 演習室システム構成参照)

【FLORA 用ソフトウェア】

Windows NT

種 別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows NT 4.0 Workstation
ビジネス関連	Microsoft Office97 Powered by WORD98 <ul style="list-style-type: none"> ・Word 98 ・Excel 97 ・Power Point 97 ・Access 97
言語	電脳組 BASIC98 Microsoft Visual BASIC Orchid Study C Borland C++ Builder Borland TurboC++ 4.0J Borland TurboC++ 5.0J Microsoft Visual C++ ユニー 3D-LOGO
CG	メツ PaintShop メツ G. Crew マクロメディア Flash マイクログラフィックス Simply 3D
エディタ	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica エスミ Eecel統計 エスミ Excel多変量解析
CAD	AutoDesk AutoCad LT98
シミュレータ	MicroSim Pspice
ネットワーク	Netscape Netscape Communicator カテネ Logo Vista E to J Internet Plus
電子辞書	ネットワークこととい for Internet 岩波書店 広辞苑 研究者 新英和/英和中辞典 日外アソシエーツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux

種 別	ソフトウェア名
OS	Turbo Linux Turbo Linux 3.0
ビジネス関連	Applixware

【iMac 用ソフトウェア (A グループ)】

種 別	ソフトウェア名
O S	Apple MacOS 8
ビジネス関連	Microsoft Office98
	Adobe PageMaker
	Adobe Acrobat
言語	Pictorius Prograph
オーサリング	Apple Hyper Card
CG	Adobe Photoshop
	Adobe Illustrator
	終作 六角大王
シュミレータ	Knowledge Revolution Interactive Physics
	MicroSim Pspice

【iMac 用ソフトウェア (B グループ)】

種 別	ソフトウェア名
O S	Apple MacOS 8
ビジネス関連	Microsoft Office98
言語	Pictorius Prograph
	Metrowerks CodeWarrior
	STAZ SOFTWARE Future BASIC
オーサリング	Apple Hyper Card
シュミレータ	Knowledge Revolution Interactive Physics
	MicroSim PSpice

【VAIO 用ソフトウェア】

種 別	ソフトウェア名
O S	Microsoft Windows 98
ビジネス関連	Adobe PageMaker
	Adobe Acrobat
オーサリング	Macromedia Director
CG	Adobe PhotoShop
	Adobe Illustrator

【視聴用ビデオ／CD-ROM】

種 別	ソフトウェア名
ビデオ	丸善 ビデオでわかるインターネットのすべて
	丸善 マルチメディア研修シリーズ
	丸善 ビジュアルプレゼンテーションシリーズ
	日経総合販売 UNIX入門
CD-ROM	日立デジタル平凡社 マイペディア98
	日立デジタル平凡社 マイペディア97
	富士通ラーニングメディア 理科年表CD-ROM98
	NECインターチャネル マルチメディア人体

第4 演習室システム構成

【教員用システム (A室)】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:Pentium II 350MHz メモリ:96MB HDD:6.4GB (Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/1.44MB) MOD:3.5inch×1:640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ/マイク (外付) モニタ:日立14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	3
	Apple Power Macintosh 8600/200 メモリ:64MB HDD:1.5GB (内蔵) FDD:3.5inch×1 (内蔵) CD-ROM (内蔵)	1
プリンタ	EPSON LP-9600	1
	EPSON LP-8000C (スキヤナ付)	1
提示装置	書画カメラ(Nikon HI-300)	1
	電子式ホワイトボード(SORD SoftBoard)	2
	フリーハンド描画装置(Boeckeler Pointmaker)	1
	DV/S-VHSプレイヤー(SONY WV-D1000)	1
	DVD/CD/LDプレイヤー(Pioneer DVL-919)	1
	CCDカメラ(SONY CCD-PC1)	1
	カセットデッキ(SONY TC-WR910)	1
ノートパソコン用接続ケーブル	1	
モニタリングシステム	制御用タッチパネル(送出切替)	1
	送出確認モニタ	2
	Campus EPer 用マシン(日立 FLORA-370)	1

【教員用システム (B室)】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 CPU:Pentium II 350MHz メモリ:96MB HDD:6.4GB(Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/1.44MB) MOD:3.5inch ×1:640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ/マイク (外付) モニタ:日立14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	2
プリンタ	EPSON LP-9600	1
提示装置	書画カメラ(Nikon HI-300)	1
	DV/S-VHSプレイヤー(SONY WV-D10000)	1
	DVD/CD/LDプレイヤー(Pioneer DVL-919)	1
モニタリングシステム	送出確認モニタ	1
	Campus EPer 用マシン(日立 FLORA-370)	1

【学生用システム (A室)】

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA-370 メモリ:96MB HDD:6.4GB(Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/MB) CD-ROM:最大32倍速 (内蔵) MOD:3.5inch× 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ/マイク:SONY CCD-PC1 スピーカ:日立PC-AM060 モニタ:日立14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	80
プリンタ	EPSON LP-9600	5
	EPSON LP-8000C	1
提示用モニタ	日立14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	40

【教員用システム (B 室)】

	製 品 名	数 量
コンピュータ	日立 FLORA-370 メモリ:96MB HDD:6.4GB (Windows NT:3GB Turbo Linux:3.4GB) FDD:3.5inch×1 (内蔵) 3モード(720KB/1.2MB/1.44MB) CD-ROM:最大32倍速 (内蔵) MOD:3.5inch×640MB×1 (内蔵) CCDカメラ/マイク:SONY CCD-PC1 スピーカ:日立PC-AM060 モニタ:日立14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	56
プリンタ	EPSON LP-9600	4
提示用モニタ	日立 14.1inch液晶モニタ (Super TFT)	28

【サーバ】

サ ー バ	機 種
バックアップメインコントローラ ファイルサーバ NIS Masterサーバ	COMPAQ Alpha Server800
バックアップメインコントローラ ファイルサーバ NIS Slaveサーバ	COMPAQ Alpha Server800
メールサーバ WWWサーバ WWWプロキシサーバ	富士通 GP400モデル60
ドメインネームサーバ	日立 FLORA350
インターネットことといサーバ DHCPサーバ プライマリドメインコントローラ	GATEWAY ALR7300
Windows Terminal Server バックアップメインコントローラ	GATEWAY ALR7300
リモートアクセスサーバ	ルーセントテクノロジ PortMaster3 model A2T
プロファイルサーバ	COMPAQ ProLiant800

【ソフトウェア】

Windows NT

種 別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows NT 4.0 Workstation
ビジネス関連	Microsoft Office97 Powered by WORD98 <ul style="list-style-type: none"> ・Word 98 ・Excel 97 ・Power Point 97 ・Access 97
言語	<ul style="list-style-type: none"> 電脳組 BASIC/98 Microsoft Visual BASIC Orchid Study C Borland C++ Builder Borland TurboC++ 4.0J Borland TurboC++ 5.0J ユニー 3D-LOGO
CG	<ul style="list-style-type: none"> メツ PaintShop メツ G. Crew マクロメディア Flash マイクログラフィックス Simply 3D
エディタ	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT98
シュミレータ	MicroSim Pspice
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> Netscape Netscape Communicator カテナ Logo Vista E to J Internet Plus
電子辞書	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークこととい for Internet 岩波書店 広辞苑 研究者 新英和/英和中辞典 日外アソシエーツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux

種 別	ソフトウェア名
OS	Turbo Linux Turbo Linux 3.0
ビジネス関連	Applixware

第5 演習室システム構成

【教員用システム】

	製品名	数量
コンピュータ	Compaq Evo Desktop D500MT CPU:Pentium4 1.6GHz メモリ:1GB HDD:100GB FDD:3.5inch×1 (内蔵) CD-RW (内蔵) MOD:3.5inch× 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ:Creative VBWCPLUS マイク:Creative MC1000/J スピーカ:内蔵 モニタ:15inch液晶モニタ	2
	Apple M8360J/A メモリ:1.2GB HDD:60GB (内蔵) SuperDrive (内蔵) モニタ:15inch液晶モニタ	1
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
提示装置	書画カメラ(Nikon HI-500E)	1
	電子式ホワイトボード(SMART BOARD)	2
	フリーハンド描画装置(WACOM PL-550)	1
	DV/S-VHSプレイヤー(SONY WV-DR7)	1
	CD/CDV/LDプレイヤー(SONY DVL-919)	1
	CCDカメラ(VBWCPLUS)	1
	カセットデッキ(Panasonic RS-TR4750-K)	1
	ノートパソコン用接続ケーブル	1
モニタリングシステム	制御用タッチパネル(送出切替, 画面取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	送出確認モニタ	1
講義録画再生システム	DVDハードディスクレコーダ(DMR-HS1-S)	2
	DVD100連装チェンジャー	1
	制御用コンピュータ	1

【学生用システム】

	製 品 名	数 量
コンピュータ	Compaq Evo Desktop D500MT CPU:Pentium4 1.6GHz メモリ:1GB HDD:100GB FDD:3.5inch×1 (内蔵) CD-RW (内蔵) MOD:3.5inch× 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ:Creative VBWPLUS マイク:Creative MC1000/J スピーカ:内蔵 モニタ:15inch液晶モニタ(FlexScan L365)	72
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
	EPSON LP-8300CPD(スキャナ付)	1
提示用モニタ	15inch液晶モニタ(FlexScan L365)	38

【サーバ】

サ ー バ	機 種
Windows サーバ	Panastation 4台
Linux サーバ	Panastation 3台
映像配信サーバ	Panastation 1台

【ソフトウェア】

種 別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows XP
ビジネス関連	Microsoft OfficeXP <ul style="list-style-type: none"> •Word XP •Excel XP •Power Point XP •Access XP
言 語	Orchid Study C
	Microsoft Visual BASIC
	電腦組 BASIC/98
	ユニ- 3D-LOGO
	SunMicrosystems Java 1.4.1
CG	Adobe Photoshop
数式処理	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT 2002
シュミレータ	マイクロネット Circuit Viewer
	The Mathworks Matlab
ネットワーク	Netscape Netscape7
教場	Netscape Netscape7

○購入出版物

本年度、年間購読した雑誌の一覧を示す。

四條畷学舎

雑誌名	出版社
ASCII	ASCII
Windows 2000 World	IDGジャパン
インターフェース	CQ出版

寝屋川学舎

雑誌名	出版社
ASCII	ASCII
Interface	CQ出版
UNIX MAGAZINE	ASCII
UNIX USER	SOFTBANK
NEW教育とマイコン	学研
テレパル	小学館
Internet Magazine	インプレス
Windows 2000 World	IDGコミュニケーションズ
合格情報処理	学研
MAC Power	ASCII

演習室利用状況

以下に、本センターの各演習室で実施しているカリキュラムの一覧を示した。

このように、本センターの資源は十二分に活用されており、限界に近い状況で使用されていることがわかる。

表の見方

1 行目 学年／学科（英大文字で識別）／クラス（英小文字）
科目名

学科記号一覧

工学部第1部

E 学科：電子工学科 F 学科：通信工学科 G 学科：電子材料工学科
H 学科：電子機械工学科 J 学科：知能機械工学科 K 学科：光システム工学科
L 学科：医療福祉工学科

工学部第2部

R 学科：電子工学科 V 学科：知能機械工学科

総合情報学部

P 学科：情報工学科 Q 学科：メディア情報文化学科
W 学科：デジタルゲーム学科

短期大学部

短大 B：電子情報学科

大学院

博士 D：博士課程（後期） 修士 M：博士課程（前期）

第1演習室

前期	月	火	水	木	金	土
1時限	1Qa コンピュータ 基礎演習 I	1Eb コンピュータ 入門 I			1Lb コンピュータ 基礎演習 I	
2時限	1Qb コンピュータ 基礎演習 I	1Eb コンピュータ 基礎演習 I			1La コンピュータ 基礎演習 I	
3時限	1Ea コンピュータ 入門 I	1Gb コンピュータ 基礎演習 I	1Jb コンピュータ 基礎演習 I	1Kb コンピュータ 基礎演習 I	1Hb コンピュータ 入門 I	
4時限	1Ea コンピュータ 基礎演習 I	1Ga コンピュータ 基礎演習 I	1Ja コンピュータ 基礎演習 I	1Ka コンピュータ 基礎演習 I	1Hb コンピュータ 入門 I	

後期	月	火	水	木	金	土
1時限	1Qa コンピュータ 基礎演習 II	1Eb コンピュータ 入門 II	1Fa コンピュータ 基礎演習 I	1Fb コンピュータ 基礎演習 I	1Lb コンピュータ 基礎演習 II	
2時限	1Qb コンピュータ 基礎演習 II	1Eb コンピュータ 基礎演習 II	1Fa コンピュータ 基礎演習 II	1Fb コンピュータ 基礎演習 II	1La コンピュータ 基礎演習 II	
3時限	1Ea コンピュータ 入門 II	1Gb コンピュータ 基礎演習 II	1Jb コンピュータ 基礎演習 II	1Kb コンピュータ 基礎演習 II	1Ha コンピュータ 基礎演習 I	
4時限	1Ea コンピュータ 基礎演習 II	1Ga コンピュータ 基礎演習 II	1Ja コンピュータ 基礎演習 II	1Ka コンピュータ 基礎演習 II	1Ha コンピュータ 基礎演習 II	

第2 演習室

前期	月	火	水	木	金	土
1時限			2B エンドユーザ コンピュー ティング		3Eb 電子工学 実験Ⅲ	
2時限	院・総合 固体物理学 特論	3H コンピュータ 演習Ⅲ		2Ga コンピュータ 演習Ⅰ	3Eb 電子工学 実験Ⅲ	
3時限		2B メディア活用 (演習を含む)			3E 電子材料工学	
4時限			3Fa コンピュータ 応用演習Ⅰ			
5時限						
6時限				2R プログラム 設計		
7時限		4R パターン情報処 理				

後期	月	火	水	木	金	土
1時限	2B CAD (演習を含む)	2J 設計製図Ⅱ				
2時限	3E コンピュータ 演習Ⅲ	2J 設計製図Ⅱ		2B 情報 メディア論		
3時限						
4時限	2P コンピュータ 応用演習		3F コンピュータ 応用演習Ⅱ			
5時限					教職 数学科 教育法Ⅰ 17:30から	
6時限		4R 生体情報処理			教職 数学科 教育法Ⅰ 19:00まで	
7時限						

第3演習室

前期	月	火	水	木	金	土
1時限		2H コンピュータ 演習 I			3Eb 電子工学実験Ⅲ	
2時限		3H コンピュータ 演習Ⅲ			3Eb 電子工学実験Ⅲ	
3時限			3Ea 電子工学実験Ⅲ			
4時限			3Ea 電子工学実験Ⅲ		1B ソフトウェア I (演習を含む)	
5時限						
6時限						
7時限						

後期	月	火	水	木	金	土
1時限					3Eb 電子工学実験Ⅳ	
2時限		1B ソフトウェアⅡ (演習を含む)			3Eb 電子工学実験Ⅳ	
3時限			3Ea 電子工学実験Ⅳ		院・情報 CAI特論	
4時限			3Ea 電子工学実験Ⅳ			
5時限			4H 卒業研究 (新関研)			
6時限						
7時限						

第4演習室

期間	月	火	水	木	金	土
1時限	2Eb コンピュータ 演習Ⅰ	2H コンピュータ 演習Ⅰ	2F コンピュータ 演習Ⅰ	2G 固体電子工学	4H CAD・CAM 工学	
2時限	4H デジタル 画像処理	2G コンピュータ 演習Ⅱ	2J コンピュータ 演習Ⅰ	2Gb コンピュータ 演習Ⅰ	2Ea コンピュータ 演習Ⅰ	
3時限	2B ソフトウェアⅢ (演習を含む)	2E 固体電子工学Ⅰ	3Ea 電子工学 実験Ⅲ	3G コンピュータシ ミュレーション	1B 電子計算機 基礎演習Ⅱ	
4時限	1B 電子計算機 基礎演習Ⅰ	3E 量子物理工学	A室:3Fbコンピュータ 応用演習Ⅰ B室:3Ea電子工 学実験Ⅲ		1B ソフトウェアⅠ (演習を含む)	
5時限					2E~K コンピュータ 基礎演習Ⅰ(再)	
6時限				23V 機械CAD 設計製図Ⅱ		
7時限		2V 電子計算機 演習Ⅰ	1R 電子計算機 基礎演習Ⅰ (実習を含む)	2R 電子計算機 演習Ⅰ		1V 電子計算機 基礎演習Ⅰ (実習を含む)

期間	月	火	水	木	金	土
1時限	2B CAD (演習を含む)	2H コンピュータ演 習Ⅱ	2B 情報コミュニケ ーション演習	2F コンピュータ演 習Ⅱ		
2時限	2Eb コンピュータ 演習Ⅱ	1B ソフトウェアⅡ (演習を含む)	2J コンピュータ 演習Ⅱ	2G コンピュータ演 習Ⅲ	2Ea コンピュータ 演習Ⅱ	
3時限	2B データベース (演習を含む)			3G 磁性体工学	1B データ解析法 (演習を含む)	
4時限	A室:2Pコンピュータ 応用演習/ B室:2Bソフトウェア Ⅳ(演習を含む)		3F コンピュータ 応用演習Ⅱ			
5時限	1B 情報活用 (演習を含む)		A室:1Bデータ解析 法(演習を含む) B室:教職情報化 教育法	2B 卒業研究	2E~K コンピュータ 基礎演習Ⅱ (再)	
6時限				2R 情報システム	知能情報 処理特論 18:30~20:00	1V CAD基礎
7時限		2V 電子計算機演習 Ⅱ	1R 電子計算機 基礎演習Ⅱ (実習を含む)	2R 電子計算機 演習Ⅱ		1V 電子計算機 基礎演習Ⅱ (実習を含む)

第5演習室

前期	月	火	水	木	金	土
1時限	2Q CAD基礎	3L システム・ 情報処理実習	1Fa コンピュータ 入門Ⅰ	1Fb コンピュータ 入門Ⅰ	1La コンピュータ 入門Ⅰ	
2時限	3L 医療情報 ネットワーク	3L システム・ 情報処理実習	1Fa コンピュータ 入門Ⅱ	1Fb コンピュータ 入門Ⅱ	1Lb コンピュータ 入門Ⅰ	
3時限	2Q CAD基礎	1Ga コンピュータ 入門Ⅰ	1Ja コンピュータ 入門Ⅰ	1Ka コンピュータ 入門Ⅰ	1Ha コンピュータ 入門Ⅰ	
4時限	3L 医療情報 ネットワーク	1Gb コンピュータ 入門Ⅰ	1Jb コンピュータ 入門Ⅰ	1Kb コンピュータ 入門Ⅰ	1Ha コンピュータ 入門Ⅱ	

後期	月	火	水	木	金	土
1時限		2L 情報処理工学			1La コンピュータ 入門Ⅱ	
2時限	総合ゼミナ ールⅡ				1Lb コンピュータ 入門Ⅱ	
3時限		1Ga コンピュータ 入門Ⅱ	1Ja コンピュータ 入門Ⅱ	1Ka コンピュータ 入門Ⅱ	1Hb コンピュータ 基礎演習Ⅰ	
4時限		1Gb コンピュータ 入門Ⅱ	1Jb コンピュータ 入門Ⅱ	1Kb コンピュータ 入門Ⅱ	1Hb コンピュータ 基礎演習Ⅱ	

自由開放実施報告

本センターでは、学生が授業のレポート作成・自習などでコンピュータを利用できるように自由開放を実施している。自由開放時間においては、専門的知識を持つ学生をアルバイトとして雇用し、利用者の質問・トラブルに対応している。

以下に、本年度の自由開放利用状況を報告する。

自由開放時間

連休前 (4/10 - 5/9)

演習室	曜日	時間
第1演習室	月～金	16:45 ～ 18:50
第2演習室	月	12:30 ～ 19:50
	水	16:30 ～ 19:50
	木	12:30 ～ 19:50
	金	14:30 ～ 19:50
第3演習室	月	12:30 ～ 19:50
	火	12:30 ～ 19:50
	水	16:30 ～ 19:50
	木	12:30 ～ 19:50
	金	14:30 ～ 19:50

前期授業期間 (5/12 - 7/16)

演習室	曜日	時間
第1演習室	月～金	16:45 ～ 18:50
第2演習室	月	12:30 ～ 19:50
	火	14:40 ～ 19:50
	木	12:30 ～ 19:50
	金	14:40 ～ 19:50
	土	10:30 ～ 19:00
第3演習室	月	12:30 ～ 19:50
	火	12:30 ～ 19:50
	水	16:30 ～ 19:50
	木	14:40 ～ 17:50
	金	12:30 ～ 19:50
	土	10:30 ～ 19:00
第4演習室	木	14:40 ～ 17:50

前期試験期間中 (7/17 - 7/31)

演習室	曜日	時間
第3演習室	月～金	12:10 ～ 18:20
	土	10:30 ～ 19:00

夏期休業期間中 (8/1 - 9/20)

演習室	曜日	時間
第3演習室	月～金	11:10 ～ 16:50
	土	10:30 ～ 19:00

※中止日 8/5, 8/7 ～ 8/17, 8/23

後期授業期間 (9/24 - 1/20)

演習室	曜日	時間
第1演習室	月～金	16:45 ～ 18:50
第2演習室	月	16:20 ～ 19:50
	火	12:30 ～ 19:50
	水	16:20 ～ 19:50
	木	12:30 ～ 19:50
	金	12:30 ～ 16:10
	土	10:30 ～ 19:00
第3演習室	月	12:30 ～ 19:50
	火	12:30 ～ 19:50
	水	18:00 ～ 19:50
	木	12:30 ～ 19:50
	金	14:30 ～ 19:50
	土	10:30 ～ 19:00
第4演習室	水	12:30 ～ 16:10
	木	14:40 ～ 17:50

※ただし大学祭期間中 (10/31 ～ 11/4)、冬季休業期間中 (12/24 ～ 1/6)は中止

後期試験期間中 (1/21 - 2/6)

演習室	曜日	時間
第2演習室	月～金	12:00 ～ 19:50
第3演習室	土	10:30 ～ 19:00

※ただし, 1/31 は中止

後期試験終了後 (2/3 ～ 3/10)

演習室	曜日	時間
第3演習室	月～金	12:10 ～ 18:50
	土	10:30 ～ 19:00

後期試験終了後 (3/11 ～ 3/13, 3/16, 3/18)

演習室	曜日	時間
第3演習室	月～金	12:00 ～ 17:00
	土	10:30 ～ 13:00, 14:00 ～ 19:00

第 1 演習室利用統計

(Windows NT)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	10	41	113	122	-	3	76	104	76	150	19	-	714
F学科	2	2	18	0	-	1	32	30	9	16	22	-	132
G学科	3	4	6	10	-	1	45	2	11	60	0	-	142
H学科	1	2	0	2	-	1	2	2	12	7	4	-	33
J学科	2	0	2	19	-	0	4	2	21	0	0	-	50
K学科	0	9	19	16	-	0	6	2	11	2	2	-	67
L学科	7	7	15	127	-	1	34	82	23	28	6	-	330
R学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
V学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
P学科	5	7	4	1	-	2	1	3	1	49	0	-	73
Q学科	2	6	1	5	-	0	4	5	1	8	0	-	32
W学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
短大B	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
修士M	20	12	7	1	-	1	4	5	6	23	0	-	79
博士D	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
計	52	90	185	303	-	10	208	237	171	343	53	-	1652

第2 演習室利用統計

(Windows NT)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	84	607	666	180	-	24	102	113	238	105	2	-	2121
F学科	25	142	118	73	-	9	75	115	138	57	8	-	760
G学科	24	89	80	84	-	11	50	83	62	25	1	-	509
H学科	25	104	87	71	-	42	95	112	73	69	2	-	680
J学科	12	107	208	103	-	12	47	81	57	67	4	-	698
K学科	4	29	27	9	-	6	22	42	20	15	0	-	174
L学科	19	15	12	4	-	6	11	12	6	7	0	-	92
R学科	31	90	134	38	-	2	23	49	37	18	0	-	422
V学科	8	42	51	38	-	6	54	42	51	29	1	-	322
P学科	11	12	9	12	-	6	49	73	52	39	1	-	264
Q学科	2	1	0	0	-	0	3	1	0	1	3	-	11
W学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	22	-	22
短大B	50	192	115	112	-	4	49	66	115	119	3	-	825
修士M	19	15	12	4	-	2	23	49	37	18	0	-	179
博士D	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
計	314	1445	1519	728	-	130	603	838	886	569	47	-	7079

(Turbo Linux)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	2	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	2
F学科	0	0	0	0	-	0	1	1	0	0	0	-	2
G学科	0	0	0	19	-	0	0	0	0	0	0	-	19
H学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
J学科	0	0	0	1	-	0	0	0	0	0	0	-	1
K学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
L学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
R学科	33	51	31	25	-	0	68	156	74	69	0	-	507
V学科	0	19	2	1	-	0	1	1	6	8	1	-	39
P学科	0	3	0	1	-	1	109	225	172	20	0	-	531
Q学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
W学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
短大B	0	6	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	6
修士M	1	0	2	1	-	2	12	25	10	4	0	-	57
博士D	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
計	34	81	35	48	-	3	191	408	262	101	-	-	1164

第3 演習室利用統計

(Windows NT)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	163	615	609	435	10	26	263	252	301	194	106	58	3032
F学科	62	121	80	133	10	40	79	47	107	88	74	30	871
G学科	58	74	87	130	8	26	59	46	65	58	41	42	694
H学科	46	166	102	109	11	72	79	147	130	131	67	13	1073
J学科	43	56	91	102	12	22	67	108	103	55	42	26	727
K学科	14	47	55	30	6	18	12	24	25	26	54	2	313
L学科	1	4	1	3	8	1	1	0	0	0	1	0	20
R学科	32	123	152	139	14	29	64	64	55	40	25	18	755
V学科	55	118	108	213	29	37	74	74	68	74	32	13	895
P学科	9	3	8	4	2	3	17	17	12	14	13	0	102
Q学科	5	1	0	0	0	9	1	3	3	3	1	0	26
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	76	118	134	209	3	17	126	145	145	191	173	15	1352
修士M	17	10	10	32	1	24	14	22	18	16	12	4	180
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	581	1456	1437	1539	114	324	856	949	1032	890	641	221	10040

(Turbo Linux)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
F学科	0	0	0	0	1	0	8	0	1	0	0	0	10
G学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J学科	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
K学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R学科	24	52	28	65	1	1	49	44	55	43	0	0	362
V学科	0	5	1	9	0	0	2	6	4	7	1	0	35
P学科	3	0	0	0	0	0	28	106	65	12	0	0	214
Q学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修士M	2	0	1	0	0	0	0	1	0	5	0	0	9
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	57	30	74	3	1	87	158	127	67	1	0	635

第4 演習室利用統計

(Windows NT)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	-	1	5	1	-	3	33	30	51	32	-	-	156
F学科	-	12	1	5	-	43	88	49	108	61	-	-	367
G学科	-	9	9	0	-	3	21	27	24	18	-	-	111
H学科	-	11	1	0	-	6	25	26	11	13	-	-	93
J学科	-	8	28	0	-	13	50	85	54	34	-	-	272
K学科	-	4	1	0	-	1	4	15	5	10	-	-	40
L学科	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	-	0
R学科	-	13	4	1	-	1	16	11	5	5	-	-	56
V学科	-	10	14	5	-	3	2	5	9	5	-	-	53
P学科	-	0	0		-	0	0	0	0	1	-	-	1
Q学科	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	-	0
W学科	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	-	0
短大B	-	8	44	6	-	0	9	10	44	32	-	-	153
修士M	-	0	1		-	0	0	3	7	2	-	-	13
博士D	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	-	0
計	-	76	108	18	-	73	248	261	318	213	-	-	1315

(Turbo Linux)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F学科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
G学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R学科	0	2	5	0	0	0	12	36	7	13	0	0	75
V学科	0	4	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15
P学科	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	0	7
Q学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修士M	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	6	12	4	0	0	14	40	9	17	0	0	102

第 5 演習室利用統計

(Windows NT)

利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	3	0	2	12	-	0	1	0	15	30	36	-	99
F学科	10	22	48	25	-	1	10	3	7	9	22	-	157
G学科	4	3	14	24	-	2	14	49	14	46	25	-	195
H学科	3	13	24	41	-	27	20	5	11	9	32	-	185
J学科	0	1	4	34	-	1	15	38	22	13	14	-	142
K学科	3	3	13	56	-	6	25	50	20	42	47	-	265
L学科	12	43	102	307	-	3	38	62	58	181	47	-	853
R学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
V学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
P学科	2	1	8	18	-	0	6	2	21	4	0	-	62
Q学科	4	5	27	93	-	1	6	14	14	21	7	-	192
W学科	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
短大B	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
修士M	6	4	4	1	-	0	3	1	0	4	0	-	23
博士D	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0
計	47	95	246	611	-	41	138	224	182	359	230	-	2173

活動報告・施設見学等

2003年度に本センターで開催された講座・講習会の概要を示した。また施設見学に関する概要もあわせて示した。

【講座・資格試験等】

日付	講座名	主催者	場所
4月19, 26日 5月10, 24日 6月7, 14, 21日	資格試験講座 (CG検定3級)	資格学習支援センター	第2演習室
7月12日, 8月30日	資格試験講座 (初級シスアド)	資格学習支援センター	第4演習室
7月27日	オープンキャンパス (寝屋川学舎)	大阪電気通信大学	第2, 3, 4演習室
8月23日	オープンキャンパス (四條畷学舎)	大阪電気通信大学	第5演習室
8月5日	体験入学	大阪電気通信大学	第2演習室
9月20, 27日 10月4, 11, 18日 11月22, 29日	資格試験講座 (CG検定3級)	資格学習支援センター	第2演習室
2月14, 21日	資格試験講座 (初級シスアド)	資格学習支援センター	第4演習室

【見学】

見学日	見学者	場所
4月1, 2日	新入生歓迎会	第2, 3, 4演習室
4月18日	在大阪オーストラリア総領事館 商務官 シンディー・春山氏 国立サザンクイーンズランド大学 国際交流マネージャー Leon Owen氏	第4演習室
5月13日	大阪府立 阿武野高等学校	第2演習室
5月13日	KOPO(Korean Foundation fo Polytechnic Colleges)	第2, 3演習室
6月16日	寝屋川市立 中央小学校	第2, 3演習室
7月14日	枚方市立 桜丘中学校	第2, 3演習室
7月15日	大阪府立 南寝屋川高等学校	第2演習室
7月16日	大阪府立 枚方西高等学校	第2演習室
10月17日	近畿大学付属 新宮高等学校	第2演習室
10月30日	兵庫県立 香寺高等学校	第3演習室
11月5日	兵庫県立 武庫荘総合高等学校	第2演習室
11月18日	大阪府立 生野工業高等学校	第2演習室
11月20日	寝屋川市立 第九中学校	第2演習室
11月21日	寝屋川市立 第九中学校	第2演習室

2003 年オープンキャンパス “CG体験” 報告

3次元CGアニメーション製作ソフト DOGA Cシリーズ

2003年のオープンキャンパスでは、他の様々な体験コーナーと並んで、情報処理教育センターの演習室で“コンピュータグラフィックス（CG）体験”という模擬授業を行いました。

このCG体験は、これまで 3D-LOGO を使った模擬授業を行ってきたのですが、メディア情報文化学科に加えてデジタルゲーム学科の新設に伴い、本学のメディア関連の研究や教育も盛んになってきたことから、象徴的な意味でも、もう少しメディア色が強いソフトを使おうと考え、3次元CGアニメーション製作ソフト“DOGA Cシリーズ”による模擬授業を行うことにしました。

この DOGA Cシリーズについて少し説明しておきます。DOGA Cシリーズとは、DOGA 社が製作した3次元CGアニメーション作成ソフト DOGA L シリーズを、サイバー・キャンパス・コンソーシアム（CCC）*の枠組みを活用し、教育用途として使い易いように改良したシリーズです。

初心者が3次元CGアニメーションを学ぼうにも、製作ソフトは基本的に高価で使用方法も難解であり、非常に敷居が高いものでした。そこで、初心者でもCGアニメーションを楽しみながら学べるソフトを作ろうというコンセプトで DOGA L シリーズが開発されました。1992年の初版の公開から、バージョンを重ねつつ、多数のユーザに利用されてきました。以前はCGアニメーションの分野のユーザが多かったようですが、今では高校や小中学校でも導入が進んでいます。また、本学でもこのソフトウェアを使用している学生は多数います。

DOGA L シリーズの特徴は、コンセプトにもあるように、初心者からでも使えるように設計されている点です。CGアニメーションの工程を単純化し、それぞれの工程で何をしなければならないかを明確にしています。また殆どの操作をマウスだけで非常に直感的に作業を進められるようになっています。このように敷居を低くしてあるにも関わらず、本格的な3次元アニメーションが製作できるように作られています。

DOGA Cシリーズでは、マウスでの操作をより直感的にしたり、基本的な機能をアイコンボタンにするなどの改良が加えられています。

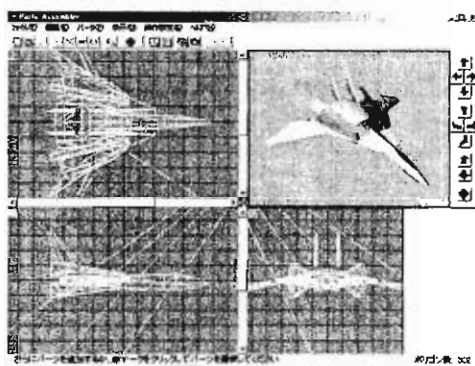


図1 パーツアセンブラ

この工程で、登場するキャラクターを作成する。予め用意されている沢山のパーツを組み合わせて作っていく。プラモデルを作っているような感覚で作業ができる。

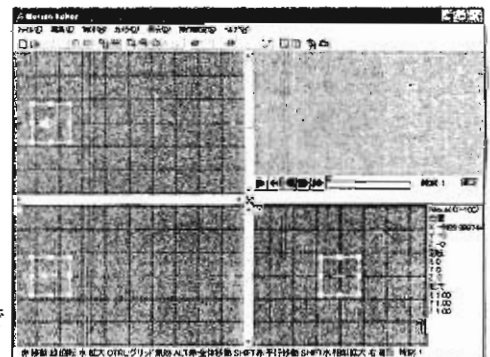


図2 モーションエディタ

この工程では、キャラクターの動きを設定する。ここでの作業も殆どの操作をマウスだけで設定できる。

当日の模擬授業では、CGアニメーションがゲームや映画だけでなく様々な分野で応用されていることなどの説明を行い、その後、DOGA を用いた実習を行いました。

実習では、オープンキャンパス用に作成した冊子を用いて全体の説明を行い、残りの時間をオリジナルアニメーションの製作時間としました。



図3 実習の様子

DOGA C シリーズは初心者向けといえど、非常に自由度が高く、凝ったものを作ろうとすると幾ら時間があっても足りなくなってしまう。そこで、DOGA Cシリーズの「キャラクターの作成」「キャラクターの動きの設定」「レンダリング」の3つの工程のうち、オープンキャンパスでの時間の割り当てを考慮し、「キャラクターの動きの設定」「レンダリング」に絞って説明することにしました。説明にレンダリングを含めることで、参加者全員に少なくとも1つ以上のCGアニメーションの製作を体験してもらうことができます。

メディア情報文化学科やデジタルゲーム学科への入学を希望する参加者も多かったことや、説明を絞り込んだこ

ともあって、説明の後の自由時間は特に質問もなく参加者は熱心にCGアニメーションの製作に取り組んでいました。

自由時間はそれほど長くはなかったのですが、自ずと説明していなかった「キャラクターの作成」機能を使って新たなキャラクターによるアニメーションを作成したり、ユニークな動きを設定して笑いを誘うものを作成したり、カメラ位置やキャラクターの動きをうまく調整してストーリー的な意味を持つアニメーションを作成するなど、多数の意欲的な作品が作成されました。



図4 説明時に作った自動車のアニメーション

図5 参加者が作成したアニメーション
草原でカブトムシとクワガタが一騎打ちを行う。



DOGA C シリーズ を使ったことで、今回のオープンキャンパスの狙いであったメディア色の強い模擬授業を行え、また、参加者に普段は見る側であったアニメーションの製作を体験してもらえることができました。

今回は DOGA C シリーズの基本的な使い方に終始していましたが、今後はデジタルゲーム学科やメディア情報文化学科を有する大学としての特色を活かした模擬授業の実施を今後の課題とします。

※サイバーキャンパスコンソーシアム(CCC)

社団法人私立大学情報教育協会が行っている事業の名称。大学間で共有することを前提とした教材コンテンツの作成や開発などの支援を行っている。

運営組織

構成

本センターには開発室を設置し、数名の兼任の教員が開発室委員として教育用のシステムの開発、普及啓蒙活動、教育工学に関係した研究等にたずさわっている。

具体的には教育用のCBEシステムのソフトウェアの開発、教育用LANの構築、数式処理の教育への応用、教科教育のCBEシステム上での展開、情報処理教育用CAIの作成に取り組んでいる。また、技術職員の開発への貢献は大きなものがある。以下に、センターの構成員を示す。

センター長

松村 雅史 (工学部第1部医療福祉工学科教授)

運営委員

王 少鋒 (人間科学研究センター助教授)
吉松 屋四郎 (数理科学研究センター助教授)
瀧川 靖雄 (工学部第1部電子工学科助教授)
村上 恭通 (工学部第1部通信工学科講師)
富田 彰宏 (工学部第1部電子材料工学科教授)
新関 雅俊 (工学部第1部電子機械工学科助教授)
吉田 晴行 (工学部第1部機械工学科講師)
境 隆一 (工学部第1部光システム工学科講師)
新川 拓也 (医療福祉工学部医療福祉工学科講師)
光本 浩士 (工学部第2部電子工学科助教授)
河合 利幸 (総合情報学部情報工学科助教授)
植野 雅之 (総合情報学部メディア情報文化学科講師)
横山 宏 (短期大学部電子情報学科講師)

開発室委員

瀧川 靖雄 (工学部第1部電子工学科助教授)
何 一偉 (工学部第1部通信工学科講師)
竹本 信之 (工学部第1部電子機械工学科講師)
杉森 直樹 (総合情報学部メディア情報文化学科講師)
渡邊 寛二 (短期大学部電子情報学科教授)
横山 宏 (短期大学部電子情報学科講師)

情報処理教育センター規則

制 定 昭和 53 年 10 月 26 日

改 正 平成 4 年 4 月 1 日

第 1 条

この規則は、大阪電気通信大学学則第 45 条の 2 第 4 項の規定に基づき、情報処理教育センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

第 2 条

- 1 センターに開発室をおく。
- 2 開発室はセンターの行う教育活動の企画、検討更新ならびにそれらに伴う技術的開発を行う。
- 3 開発室に開発室長をおく。
- 4 開発室長および開発室員は本学の教員をもつて充て、センター長の推薦により学長が任命する。

第 3 条

- 1 センターの運営に関する重要事項について、センター長の諮問に応ずるため、センターに情報処理教育センター運営委員会をおく。
- 2 センター長はセンターの運営に関する重要事項について、運営委員会に諮問するものとする。
- 3 センター長はセンターを利用して電子計算機の演習を行う教員でもつて担当者連絡会議を開き、円滑な運営をはかるものとする。
- 4 運営委員会に関する規則は、別に定める。

附 則 この規則は、昭和 53 年 10 月 26 日から施行する。

附 則 この規則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この規則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この規則は、昭和 62 年 4 月 6 日から施行する。

附 則 この規則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

情報処理教育センター運営委員会規則

制 定 昭和61年 4月 1日

最近改正 平成 4年 2月 27日

第1条

この規則は、情報処理教育センター（以下「センター」という。）規則第3条第4項の規定に基づき、センター運営委員会に関し必要な事項を定める。

第2条

- 1 運営委員会は、次の各号の委員で組織する。
 - (1) 演習を担当する各学科教員のうちから学長が任命した者
 - (2) 本学教員のうちから学長が任命したもの（若干名）
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第3条

- 1 運営委員会は、センター長が召集して議長となる。
- 2 センター長に事故のあるときは、あらかじめ指名された委員がセンター長の職務を代行する。

第4条

運営委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

第5条

運営委員会は、必要に応じ委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

第6条

その他、運営委員会の議事の方法等に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

第7条

運営委員会の事務に関する事項はセンター事務室が行う。

附 則 この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則 この規則は、平成4年4月1日から施行する。

編集・発行

2004年12月

大阪電気通信大学 情報処理教育センター

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

TEL 072-824-1131(代)

FAX 072-820-4570

E-mail ecip-staff@ecip.osakac.ac.jp

URL <http://www.osakac.ac.jp/ecip/>

印刷所

サツキ印刷株式会社

大阪電気通信大学情報教育センター
E.C.I.P



大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号

TEL 072-824-1131 (代)

FAX 072-820-1570 (代)

E-mail ecip-staff@ecip.osakac.ac.jp

URL <http://www.osakac.jp/acip/>